



武藏重幸議員

**問** 計画通りに工事を進めるために発注前の設計審査は綿密な計画で行うべき。

**答** 様々な事情から工事の変更は発生する。効果的な活用のための変更である。

**問** 平成28年度の工事の中、賑わい拠点南側、ファミリーマート+COOPの建築の際発注直後に店内照明工事で200万円の変更があった。北側の造成工事にあつては工事未了のままである。建物の設計と地割配置を明確なものとしてから発注すべきではないか。

**答** 工事は予算や事業計画等をもとに設計、発注を行っている。内容に変更がない状態で完成することは理想だが、設計時に想定できなかった部分、施工で新たに判明する部分、工事完成までの間に発生する事情などで設計の変更が生じるものである。北側エリアの敷地造成工事にあつては、アパート建設について民間事業者から建設の申し出があつたため、予定していた配置計画の見直しを行った。

公共工事発注前の設計審査は确实なものに

**問** アパート計画で土盛り工事が発注できないとあるが、アパートは奥に配置するはずであり、手前のほうは全然手をつけていない。やはりもう少し綿密な計算でやっていただきたい。

**答** アパートは当初多目的交流施設の周辺に建設する予定だったが、民間の事業者から町の土地を借り受けてアパートを設置してもいいという申し出があり、内部で検討して変更をした。工事の変更を余儀なくされている部分はあるが、最終的には町の北側エリア全体、そして民間の方々にも効果的に利用してもらうために変更しているといふことをご理解願いたい。



▲チップボイラー

**問** 旧湯原小学校、七ヶ宿小学校の体育館に設置されている木質チップ燃料使用暖房器具は不具合のためほとんど使用されていない。これらは設計審査の甘さではないのか。

**答** 今後公共施設の中で再利用が可能かどうか専門家の意見を参考にしながら、費用対効果なども参考にして利用の検討をしていきたい。

平成28年度一般会計補正予算(第7号)

300万円 減額

地方消費税交付金、基金繰入金等の減額を見込む一方、地方譲与税、地方交付税、財産収入等の増額を見込むほか、消費税負担金の減額を措置する。

歳入 (△はマイナス)	
地方譲与税	173万1千円
利子割交付金	2万3千円
配当割交付金	△26万9千円
株式等譲渡所得割交付金	△12万8千円
地方消費税交付金	△434万5千円
自動車取得税交付金	68万7千円
地方特例交付金	△6千円
地方交付税	1億979万5千円
財産収入	217万2千円
繰入金	△1億1266万円
歳出	
消防費	△479万5千円
予備費	179万5千円

**問** 菅原研治議員

立木売払い収入が150万円ほど計上されているが、その内容は。

**答** 総務課長

昭和4年5月15日に分収契約をしていた小松沢県行造林の分収金と、電力の支障木関係が含まれている。

**問** 菅原研治議員

小松沢への植林計画は今後あるのか。

**答** 総務課長

契約が平成31年5月までの90年間となっており、その後、返地になった場合は順次造林等を進めていきたい。

**問** 梅津政志議員

地方消費税交付金は社会保障政策関連経費に充てるとされているが、どういう内容で使われてきたのか。

**答** 総務課長

福祉関係と子育て支援分に充当している。

**問** 武藏重幸議員

財産貸付収入はどの場所をどこにどれくらい貸しているものなのか。

**答** 総務課長

3月1日付で契約をしたメガソーラー用地をシャープと芙蓉総合リースとの合同会社である株式会社クリスタルリアエナジーに貸し付けている。期間は20年。面積は27万2266平米。

その他の専決

- ・七ヶ宿町町税条例等の一部改正について
  - ・七ヶ宿町国民健康保険税条例の一部改正について
- 全員賛成で承認